

「強相関酸化物の機能開発とコンビナトリアル手法の応用」

■日時 : 2005年1月13日(木) 13:00~18:35

1月14日(金) 9:00~13:15

■場所 : 東北大学金属材料研究所 講堂

(仙台市青葉区片平2-1-1)

プログラム

1月13日(木)

13:00~13:05 あいさつ

川崎雅司 東北大学金属材料研究所

【座長 : 川崎雅司 東北大学金属材料研究所】

13:05~13:45 マンガン酸化物薄膜の相転移ダイナミクス

宮野健次郎 東京大学先端科学技術研究センター

13:45~14:15 SrTiO₃の電子濃度制御と発光特性

寺嶋孝仁 京都大学化学研究所

14:15~14:45 PLDによる酸化物薄膜形成過程のコンビナトリアル解析

大西剛 東京大学物性研究所

14:45~15:15 Transport properties of oxide interfaces

Mikk Lippmaa 東京大学物性研究所

15:15~15:45 金属-酸化物接合および酸化物ヘテロ接合における電流電圧特性

須崎友文 東京大学大学院新領域創成科学研究科

15:45~16:05 休憩

【座長 : 澤彰仁 産業技術総合研究所強相関電子技術研究センター】

16:05~16:35 チタン酸化物のキャリア制御と磁性

長谷川哲也 東京大学大学院理学系研究科

16:35~17:05 ストレインフリー超高品質酸化物薄膜のフラックスエピタキシー

松本祐司 東京工業大学フロンティア創造共同研究センター

17:05~17:35 人工超格子 [(LaMnO₃)_m(SrMnO₃)_m]_n の 共鳴 X 線散乱による Mn 価数状態の決定

中尾裕則 東北大学大学院理学研究科

17:35 ~ 18:05 光電荷注入による遷移金属酸化物薄膜の物性制御
村岡祐治 東京大学物性研究所

18:05 ~ 18:35 Co ドープ二酸化チタンの強磁性
福村知昭 東北大学金属材料研究所

18:35 ~ 20:00 懇親会 (3号館6階セミナー室)

1月14日(金)

【座長：福村知昭 東北大学金属材料研究所】

9:00 ~ 9:40 強磁性/超伝導界面
前川禎通 東北大学金属材料研究所

9:40 ~ 10:10 スピン SEM による酸化物表面磁性の計測
甲野藤真 科学技術振興機構 ERATO 超構造プロジェクト

10:10 ~ 10:40 ペロブスカイト酸化物ヘテロ接合の界面特性と電場誘起抵抗スイッチング
澤彰仁 産業技術総合研究所強相関電子技術研究センター

10:40 ~ 11:10 強相関電子酸化物ヘテロ構造による室温スピントロニクスデバイス作製
田中秀和 大阪大学産業科学研究所

11:10 ~ 11:30 休憩

【座長：前川禎通 東北大学金属材料研究所】

11:30 ~ 12:10 ペロブスカイト型酸化物薄膜・界面の光電子分光
藤森淳 東京大学大学院新領域創成科学研究科

12:10 ~ 12:40 コンビナトリアル手法を用いた強相関酸化物薄膜・超格子の電子状態解析
組頭広志 東京大学大学院工学系研究科

12:40 ~ 13:10 強相関界面エンジニアリングによるペロブスカイト酸化物スピントネル接合作製
石井裕司 産業技術総合研究所強相関電子技術研究センター

13:10 ~ 13:15 終わりのあいさつ
川崎雅司 東北大学金属材料研究所

問い合わせ先：東北大学金属材料研究所

川崎雅司(kawasaki@imr.tohoku.ac.jp tel 022-215-2085)

福村知昭(fukumura@imr.tohoku.ac.jp tel 022-217-5600)